

(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・ 学科	小・中・高等部	児童 生徒数	(男) 155 (女) 71	計 226
ホームページ	http://www.gyoda-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	J R 高崎線 吹上駅下車 朝日バス：佐間回り行田折り返し場行、または総合教育センター行、または工業団地行産業道路下車 徒歩15分 行田駅下車 市内循環バス：南大通り線コース 工業団地行 警察署前下車 徒歩5分 秩父線 行田市駅下車 徒歩40分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画(プランA・B)に基づき、合理的配慮のもとに取り組む教育 ・卒業後の社会生活を見据えた、複数の教育課程による高等部の教育 ・交流及び共同学習をとおして、地域の子どもの相互理解に努める。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・親子交流会の実施(小学部低学年) ・地域の小・中・高等学校との交流学习の実施 ・公共施設等での作品展示や高等部作業班の製品販売 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開の実施(年2回) ・学区域連絡協議会の開催(年2回) ・保護者自由参観の実施(毎学期) ・事業所フェアの実施(夏季休業中) ・PTA主催夏まつり、クリスマス会の開催 					
進路について	<u>一般就労7名</u> 株式会社カインズホーム行田店、あけぼの123株式会社、医療法人仁科整形外科介護保健施設秋桜、社会福祉法人一粒吹上富士見共生プラザ風の街、彩源株式会社、株式会社マルサン、株式会社アドバンテストグリーン <u>福祉的就労17名</u> レイズアップ(2名)、明日葉、大地、夢知無恥第2作業所、グランディール、けやき寮、妻沼つくし作業所、チューリップ(3名)、ワークショップ南羽生、わかばの家(3名)、鴻巣市あしたば第二作業所、光園芸学園					

(児童生徒数：H30.5.1現在、進路はH30.3卒業生の状況)

本校の魅力！

歴史ある風土、自然に恵まれた学校

学校運営に理解、応援をしてくださる地域の方々と保護者の皆様がいる学校

警察署、消防署など公共機関が近く、安全安心な学校

学校の近くには、忍城(水城)や、さきたま古墳公園があり、歴史と自然に囲まれています。

PTA主催の夏まつり、クリスマス会
保護者の応援が心強い本校のマスコット
壇輪のハニーちゃん

県立行田特別支援学校

～ 児童生徒の成長物語 ～

本校の特色

自閉症などの障害特性を踏まえ、わかりやすく見通しの持てる指導・支援に努めます。わかる授業づくりで自信を持たせ、学習に取り組む意欲を育てます。



学校行事

地域も応援、全校で取り組む学校行事
運動会
スマイルまつり
保護者が応援
PTA主催夏まつり、クリスマス会

交流及び共同学習

通常学級支援籍の取組
行田市立東小学校、行田市立埼玉中学校、行田中学校、誠和福祉高等学校との交流学習

小学部

生活や学習の基礎となる、大人との信頼関係、基本的な生活習慣、身辺自立に必要なスキルを身に付けます。
体験活動をとおして、社会性の芽生え、規範意識の基礎を身に付けます。

現場実習

働く厳しさを知り、充実感を体験します。
一般企業での現場実習
福祉事業所での現場実習

中学部

小学部で身に付けた力をさらに伸ばし、自己肯定感を育みながら、クラスや学年での自分の役割を責任をもって取り組む意欲や態度を身に付けます。
高等部での学習につなげ、実社会への興味関心のきっかけとなるよう作業学習に取り組むみ始めます。

高等部

一人一人の力を伸ばす3つの教育課程

職業生活型

生活充実型

生活基礎型

社会生活、職業生活に必要な知識、技能を身に付けます。
よりよい社会生活が過ごせるよう、余暇を利用する力を身に付けます。

地域との連携、センター的機能

就学前の教育相談、巡回相談の実施
学区連絡協議会の開催
公共施設等での作業製品展示・販売
事業所フェアの開催
学校公開講座、研修会の開催
ボランティア養成講座開講

個に応じた支援・指導

保護者と合理的配慮について合意形成を図り、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成
アセスメントを活用した実態の把握
わかる・できる授業づくり
外部専門家の活用（臨床発達心理士、言語聴覚士など）

行田特別支援学校は、水と緑と人が育む学校